



令和7年度 建設技術審査証明事業（下水道技術） —新規7技術，変更19技術，更新23技術—

令和7年度の第1回審査証明委員会が6月5日に開催され、今年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に依頼があった技術で、新規では7技術について審査を進めることが決定しました。

このほか、変更が19技術，更新が23技術あり，合計49技術が審査されることになりました。



令和7年度 建設技術審査証明（下水道技術） 新規の依頼技術

No.	技術名称	副題	技術分類 [技術の区分]
1	(仮称) アクアレータ パワーセービングミキサー	低動力型水中攪拌装置	水処理設備 [開発目標型]
2	斜軸型機械式曝気装置	オキシデーションディッチ用曝気装置	水処理設備 [開発目標型]
3	シップジェイ SIPJ工法	特殊取付管推進工法	工法 [開発目標型]
4	SGH1工法	下水道管きよの更生工法（自立管）—形成工法—	更生・修繕技術 [開発目標型・基準達成型]
5	Two-Wayライニング工法< TW-LH>	下水道管きよの更生工法（自立管）—反転・形成工法—	更生・修繕技術 [開発目標型・基準達成型]
6	(仮称) ダンビー自立管製管工法	下水道管きよの更生工法（自立管）—製管工法—	更生・修繕技術 [開発目標型]
7	(仮称) パルテム・フローリング工法—自立タイプ	下水道管きよの更生工法（自立管）—製管工法—	更生・修繕技術 [開発目標型]

○技術の区分について

審査証明技術は、民間企業が掲げた開発目標を達成しているかを確認し証明する「開発目標型」と下水道機構が審査基準等（評価項目，試験方法，要求性能等）を示し，その確認を行う「基準達成型」の2つに区分されています（なお，混合されている技術もあります）。